

# 地域学校協働連携NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

## 地域学校協働南会津地区研修会 ①

10月22日(火)、南会津町御蔵入交流館において域内の放課後子ども教室関係者や放課後児童クラブ職員、学校教職員、幼稚園・保育所職員及び各町村教育委員会等の関係者を対象に開催しました。当日は57名の参加者が集い、「講演」「演習」をとおして学びを深めました。地域学校協働連携 NEWS では、2回に渡って研修会の概要について紹介します。

### 講演「教育事業としての効果をも高める放課後子供教室や協働活動の展開の工夫」

講師に文部科学省コミュニティ・スクールマイスター、檜葉町地域学校協働センター長として活躍されている猿渡智衛先生をお迎えして、表題に係る内容について講演いただきました。

第1部で放課後子供教室の可能性と意義について、第2部で地域学校協働活動の可能性と意義について、第3部でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進についてお話いただきました。

放課後子供教室や地域学校協働活動はどのような事業で どのような活動ができるのか、猿渡先生がこれまで携わってこられた実践事例を交えながら、その概要と可能性について幅広くご紹介いただきました。参加者は、間に入るテーマトークで隣の人と語り合いながら、新たな気付きや学びを得る有意義な70分となりました。



- 自由な時間・空間・思考から生まれる自由な体験・活動を子ども達にさせていきたい。 【小学校管理職】
- 学校でできないことを放課後子ども教室で補っていける仕組みが魅力的に感じた。 【地域連携担当教職員】
- ただぜいたくな環境やサービスを提供すればよいわけではなく、そういった環境で、どのような活動や体験を創っていくのが大切だと学んだ。 【地域連携担当教職員】
- 放課後子ども教室の可能性が見えてきたような気がした。地域と学校の関わりが大変参考になった。Win Winの関係を私たちの地域でもつくりたい。今後の放課後子ども教室の参考にしたい。 【子ども教室職員】
- 放課後子ども教室の意義と役割を再確認することができた。現在も取り組んでいるが、これからも地域とのつながりを大切に様々な活動をしていきたい。 【子ども教室職員】
- いろいろなことができるということがわかった。「できないな…」ではなく、様々なことにチャレンジしてみようと思った。「地域の子どもクラブ」になるヒントがたくさんあり、学びが多かった。 【子ども教室職員】
- 持続可能にするためには、地域の方にとってプラスになることを取り入れるのがポイントであるという話が特に心に残った。 【教育委員会担当者】

猿渡先生の講義を通して、放課後子供教室や地域学校協働活動は地域の実情に応じて多様な展開ができる柔軟性の高い事業であること、効果をも高めるためには預かり事業や作業ではなく、教育事業や地域づくり事業としての価値を認識して高める必要があることを学びました。事業の魅力や今後の活動に向けたヒントを得る貴重な機会となりました。